

2,000名以上の女性の調査結果より 女性活躍推進の現状と採用のポイントを公開

—人事担当者向け 中途採用支援サイト「エン 人事のミカタ」アンケート—

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営する人事担当者向け中途採用支援サイト『エン 人事のミカタ』（<https://partners.en-japan.com>）上で過去にエン・ジャパンが行った独自調査を元に、「働く女性のホンネに迫る！女性採用の極意」という特集を2014年10月に実施いたしました。以下、概要をご報告します。

■ 特集概要

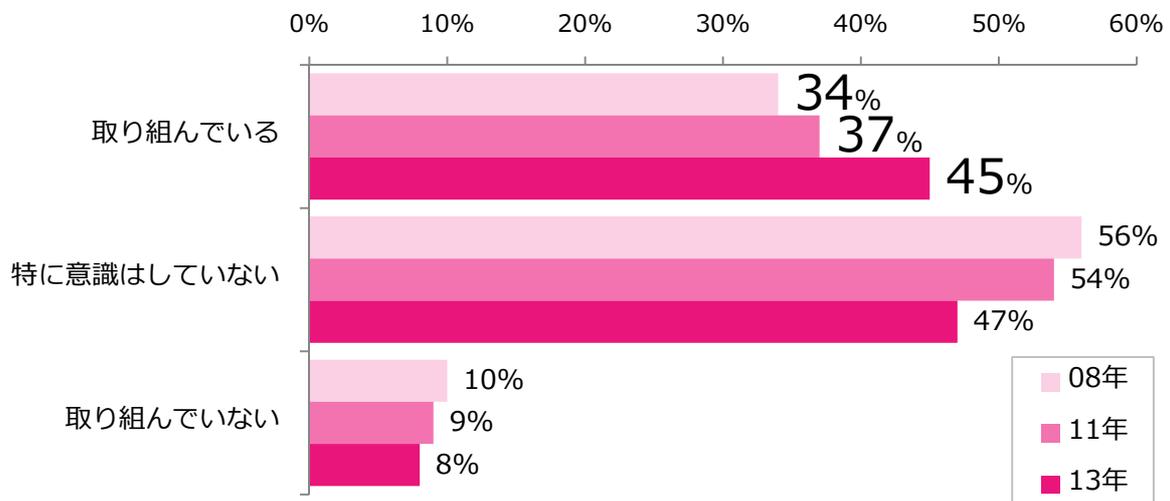
政府は10月17日に女性活躍推進法案（正式名称：「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案」）を閣議決定し、今臨時国会での成立を目指しています。本法案は、従業員数300名超の企業が、女性登用に向けた数値目標の設定・公表を義務づけるもので、安倍政権が掲げる女性活躍を推し進めるものになるかが注視されています。

エン・ジャパンが運営する人事担当者向け中途採用支援サイト『エン 人事のミカタ』では、人事の方から多数寄せられる女性採用や活躍推進の相談を受けて、女性採用・活用に関する特集記事を公開いたしました。女性活用に取り組んでいる企業はこの2年間で8%増加して、45%に。具体的には、半数以上の企業が「出産・育児をサポートする福利厚生の充実」「時短勤務・テレワークなど勤務形態の多様化」など出産後も仕事を続けられるような制度設計に取り組んでいるようです。一方、当事者の女性の意見としては、母親になっても働きたい方が70%と意欲が見られます。そのように長く仕事をすることで、許容できないことは「転勤」という意見が圧倒的多数を占めました。また「転職の際に職場の雰囲気重視する」という意見も90%に上り、制度だけではない雰囲気づくりの重要性が指摘されています。

■ 特集内容詳細

1：女性活用に取り組む企業はこの2年で急増。（図1）

【図1】 貴社では女性活用に取り組んでいますか？

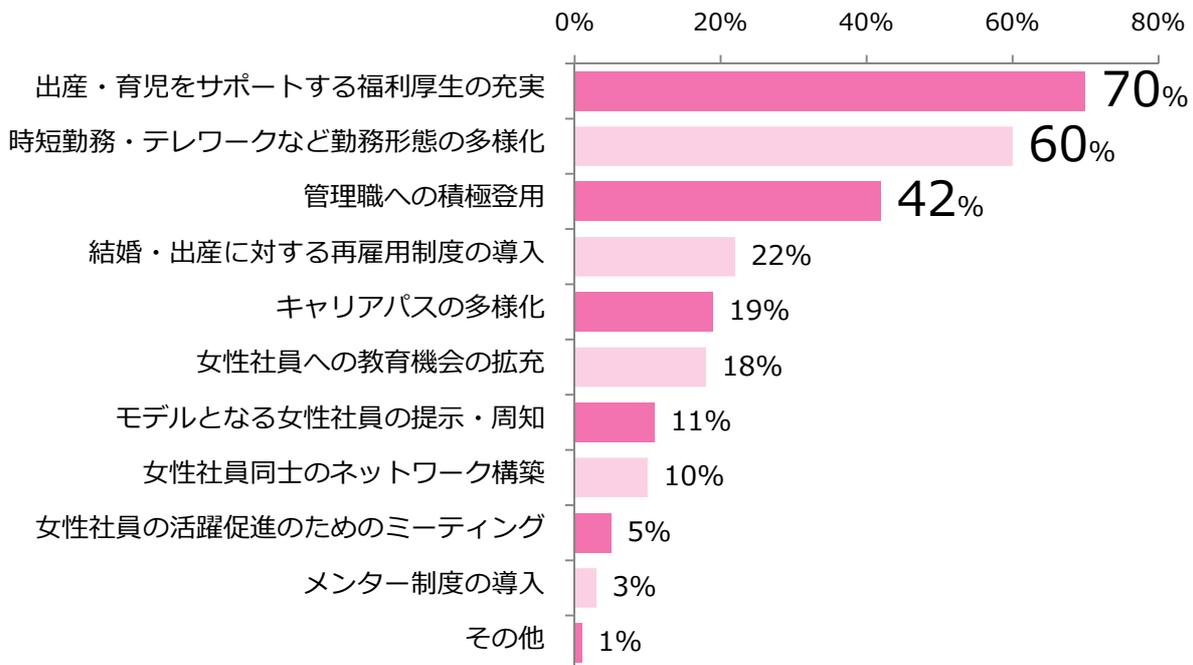


そもそも、なぜ「女性の活躍」が注目されるのか。本特集では主に3点（「ダイバーシティ・マネジメント」「日本の少子高齢化」「優秀人材のボーダレス登用」）をポイントとしてあげています。実際に、2008年・11年・13年と企業の人事担当者に「貴社では女性活用に取り組んでいますか？」と伺いました。2008年で「取り組んでいる」という回答は34%、2011年は37%と微増に留まりましたが、2013年では45%と一気に増加しました。2012年12月に発足した安倍政権が掲げる「女性活躍」が、企業の取り組みに一定の影響を与えていると考えられます。

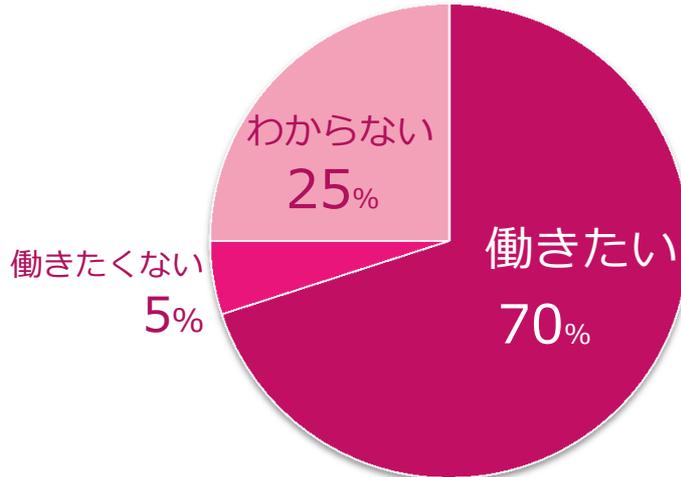
2：女性活躍・定着への取り組みは出産後の働きやすさを重視した制度設計が中心。（図2・図3）

2013年度の「女性活用」についてのアンケートで「（女性活用に）取り組んでいる」と回答した企業に、具体的な取り組みを伺いました。第1位は「**出産・育児をサポートする福利厚生**の充実」（70%）、第2位は「**時短勤務・テレワークなど勤務形態の多様化**」（60%）という回答が並ぶ結果に。出産後の働き方を見据えて、制度設計に取り組む企業が多いようです。実際に当事者である女性の意見を見ると、エン・ジャパンが実施した自社の女性社員を対象にした意識調査でも「**母親になっても働きたいと思えますか？**」という質問に、7割が「**働きたい**」と回答しました。働き続ける意欲のある女性が多い中で、いかにその女性たちが長く活躍できる環境を整えることができるかという点に、企業が注目していることが伺えます。その他、安倍政権でも掲げられている「**管理職への積極登用**」は42%で第3位となりました。

**【図2】 図1で「取り組んでいる」と回答した方に伺います。
 どのような取り組みをされていますか？（複数回答可）**



【図3】 母親になっても働きたいと思いますか？

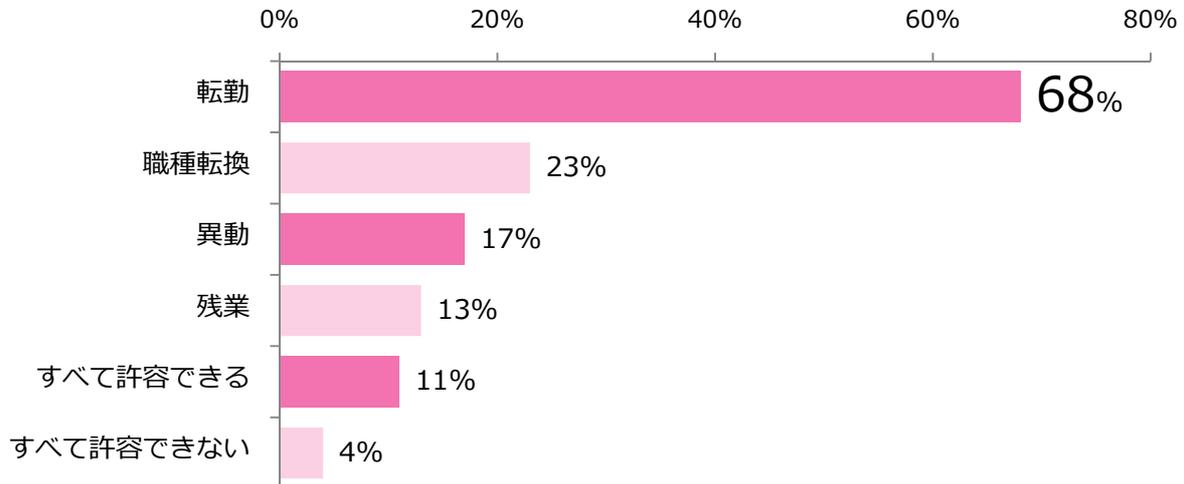


3：働き続ける上で譲れないことは「転勤」、転職時に重視することは「職場の雰囲気」。
(図4・図5)

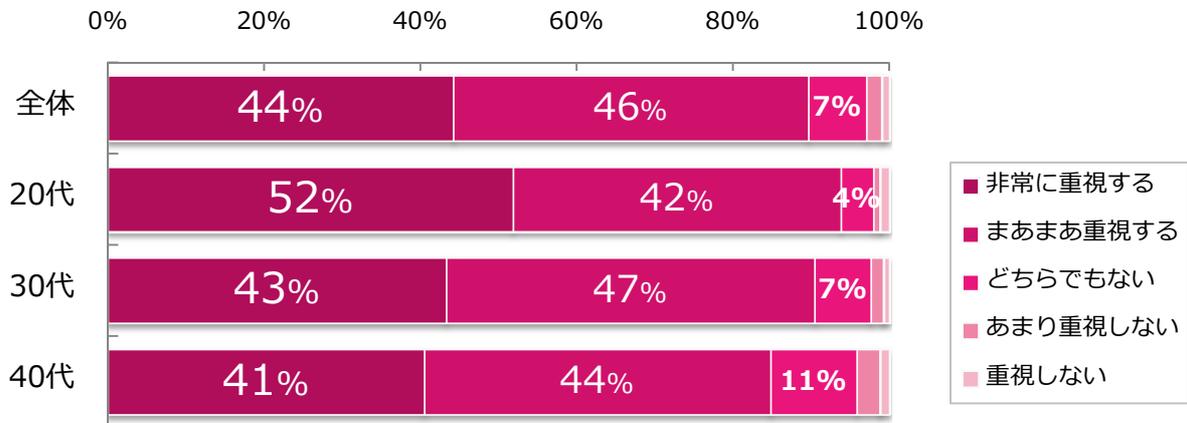
所属する女性社員に長く活躍して欲しい企業に参考になるポイントとして、「長く仕事を続けるために、許容できないことは何ですか？」と働く女性1,180名に質問をしました。68%の方が「転勤」と回答し、断トツの第1位に。理由としては、“環境の大きな変化はストレスになる”“家族がいるので、自分だけの都合で転勤はできない”などの声がありました。転勤は引越を伴うことが多いため、合わせてライフスタイルも大きく変化。中でも、配偶者や子供を持つ既婚女性にとって、自分の意志だけでは決めきれないことも多く、いくらか長く働き続けるためであっても許容できないと考えている方が多いことがうかがえます。

また、これから女性採用を強化していく企業に参考になるポイントとして、正社員での転職を希望する女性697名に「転職活動の際に“職場の雰囲気”を重視しますか？」と伺いました。90%の方が「非常に重視する」(44%)「まあまあ重視する」(46%)を選択。特に20代女性は52%が「非常に重視する」となりました。新規で採用を行いたい企業は、制度設計とともに風土醸成も必要と言えそうです。

【図4】長く仕事を続けるために、許容できないことは何ですか？（複数回答可）



【図5】転職活動の際に職場の雰囲気重視しますか？



本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：森本

<http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL : 03-3342-4506 FAX : 03-3342-4507 MAIL : en-press@en-japan.com



【調査概要：図1】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：『エン 人事のミカタ』（<https://partners.en-japan.com>）のサイト利用者
2008年度 - 575名、2011年度 - 453名、13年度：413名
- 調査期間：2008年度 - 2008年4月23日～5月27日
2011年度 - 2011年11月2日～12月6日
2013年度 - 2013年7月31日～9月10日

【調査概要：図2】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：『エン 人事のミカタ』（<https://partners.en-japan.com>）のサイト利用者 413名
- 調査期間：2013年7月31日～2013年9月10日

【調査概要：図3】

- 調査方法：エン・ジャパン 社内イントラアンケート
- 調査対象：エン・ジャパン女性社員 248名
- 調査期間：2014年5月

【調査概要：図4】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：『エンウィメンズワーク』（<http://women.en-japan.com/>）のサイト利用者 1,180名
- 調査期間：2013年9月26日～2013年10月25日

【調査概要：図5】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：『エンウィメンズワーク』（<http://women.en-japan.com/>）のサイト利用者 697名
- 調査期間：2014年3月27日～2014年4月23日

本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：森本

<http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL：03-3342-4506 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com